

## 平成22年度 第3回花見川区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日時 平成22年11月5日（金） 午後1時30分～午後4時15分

場所 花見川保健福祉センター3階大会議室

出席委員数 21名

欠席委員数 7名

事務局 7名

### 【1】次第

#### 1 開会

- #### 2 議題
- (1) 花見川区地域福祉計画の推進状況について
  - (2) (仮称) 第2期花見川区地域福祉計画(案)について
  - (3) 第2期花見川区地域福祉計画市民説明会について
  - (4) その他

#### 3 閉会

### 【2】議事要旨

委員定数28名のうち、21名出席、7名欠席を確認し開会した。

事務局司会の下、配布資料の確認を行い、議題に入る前に委員長から開会の挨拶があった。

#### 議題(1) 花見川区地域福祉計画の推進状況について

社会福祉協議会から区地域福祉計画の推進状況について資料に沿って説明があった。

<質疑応答> なし

#### 議題(2) (仮称) 第2期花見川区地域福祉計画(案)について

高齢障害支援課及び社会福祉協議会から、(仮称) 第2期花見川区地域福祉計画(案)について資料に沿って説明があった。

<質疑応答>

(全体について)

- 委員 : 本日配られた素案と10月29日付けで送付された素案を比較すると変更点があるようだが、なぜ1週間の間に変更したのか。
- 委員長 : 委員の皆さんに送付した後にも意見を出して修正したためである。
- 事務局 : 行間が狭く見づらいところなどを修正した。
- 委員 : ・第2期計画は、第4章までで終わりなのか。第1期計画では、策定までの経過等資料編が掲載されていた。  
・表紙のデザインがまだ決まっていないが、写真よりイラストのほうがいいと思う。
- 事務局 : ・同様に資料編を掲載する予定である。  
・表紙については、今後検討したい。

(第1章について)

- 委員 : 4ページ「5 区計画と市計画の関係」の“市計画”とは5ページの表の“市新総合ビジョン”のことを指すのか。
- 事務局 : “市計画”とは千葉市地域福祉計画のことを指す。
- 委員 : 7ページの図の公助の中にある“夢はぐくむ ちば 子どもプラン(次世代育成支援行動計画)”は“次世代育成支援行動計画(夢はぐくむ ちば 子どもプラン)”のほうがよいのではないか。
- 事務局 : ご意見のとおり修正する。
- 委員 : 4ページ「4 計画の期間」の文中では、「千葉市障害福祉計画」の終期が平成26年度となっているが、5ページの表の中では平成23年度となっており、不整合である。
- 事務局 : 次期市障害福祉計画を現在策定中であるが、計画期間は24年度から26年度までと決まったわけではないので、4ページの記載と整合が取れていない。
- 委員 : 6ページ「(2)社会福祉協議会の『地域福祉活動計画』との関係」の図で、「地域福祉計画」と「地域福祉活動計画」が“相互に連携・協力”と矢印で結んでいるが、「区地域福祉計画(自助・共助)」と「地域福祉活動計画」を矢印で結んだほうがよい。
- 事務局 : 地域福祉活動計画を策定する中でも、社協地区部会が担い手になるという点で、区地域福祉計画と共通しており、“相互に連携・協力”というよりも、重なるのではないかという議論もある。今後の審議の中でこの図も変わっていく可能性がある。

(第2章について)

- 委員 : 20ページ「具体的な取り組み⑨」の2行目は“ネットワークづくりの推進拡充”と“拡充”を追加したのか。
- 事務局 : “推進”を“拡充”に変更した。“推進”は下線ではなく取り消し線の誤りである。
- 委員 : ・18ページ「(9) 心身の健康づくりの推進」の4点目の医療費が高いことや、5点目の排気ガスによる空気汚染は、医療問題・公害問題であり、福祉ではないのではないか。  
・19ページ「3 重点項目」には、“4つの基本方針”と記載されているが、20ページの表では基本方針が3つしか書かれていないことが、混乱を招く。これは、重点項目だけを書き出した表だということが一見してわからないためであり、構成を示す表は23ページにもあることから、ここでは表ではなく文章で表記したほうがよいのではないか。  
・最重点項目は高齢者を対象としたものであるが、高齢者だけでなく乳幼児の虐待や障害者に対する対策も重要なのではないかと考える。
- 事務局 : ・18ページの医療問題・公害問題と指摘された記載は、第1期計画を作る際に地区フォーラムで出された区民の意見をそのまま掲載しているため、福祉に限らず様々な生活課題が挙げられている。  
・20ページの表について、表ではなく「具体的な取り組み」だけを取り出して記載するという方法もあるが、「基本方針」・「取り組みの方向性」を含めた表形式のほうがわかりやすいのではないかと考える。  
・乳幼児の虐待や障害者に対する対策も重要なのはご指摘のとおりであるが、最重点として位置付けるからには一つに絞る必要がある。
- 委員 : 19ページ「3 重点項目」の3行目の“4つの基本方針は変更せず”は、“4つの基本方針と10の取り組みの方向性は変更せず”のほうがよいのではないかと考える。
- 委員 : ・14ページから19ページの《各地区で設定された共通する生活課題》は断定的な表現が多い。  
・第2章の「花見川区の現状と課題」というタイトルがわかりにくい。地区フォーラムや第1期の課題もまとめて整理したということがわかるようなタイトルにしないと、初めて見る人にはわからない。

- 事務局 : ・《各地区で設定された共通する生活課題》は第1期計画策定前の地区フォーラムで出された意見をそのまま掲載しているが、現在の状況と変わっている可能性があることと、一部の表現が好ましくないところがあるので、削除等を検討したい。
- 委員長 : 地区フォーラムで出された意見をそのまま掲載している、ということ  
を明記するか、もしくは、不適切な表現を修正したほうがよい。
- 委員 : 「2 第1期計画の課題」の文章が、接続詞が多過ぎるので、表現  
を修正したほうがよい。
- 委員 : 13ページ「(5) 障害者手帳交付数」で、精神障害者手帳の交付  
数が2倍となったのはなぜか。
- 委員長 : 説明を加える必要がある。理由を書かなければわからない。
- 委員 : 高齢化が進むと、体の不自由な高齢者が増えるので、手帳を取る  
人も増える。手帳を取れば、介護保険だけでなく障害者福祉のサー  
ビスが受けられる。
- 事務局 : 手帳交付数は2倍となっているが、精神障害者が2倍になったとい  
うことではない。法律改正等により近年福祉サービスが充実してき  
たことから元々精神障害があった方が交付を受けている。記載の表  
現では読み取れないので見直したい。
- 委員 : ・8ページ「1 花見川区の概況」の最後の2行が浮いた感じがす  
る。  
・14ページ「2 第1期計画の課題」の6・7行目“さらに～基  
本となっています”は不要ではないか。

(第3章について)

- 委員 : 32ページ「取り組みの方向性(4)」【現状】の4点目で千葉市の  
高齢化率が19.8%となっており、第2章の表と異なる。どちら  
が正しいのか。
- 事務局 : 32ページのほうが誤りで20.0%である。
- 委員 : ・前回の会議で旧犢橋保健センターの活用を加えてほしいと意見  
を出したところ、改修できていないため追加できないとのことである  
が、この理由には納得できない。平成21年度に千葉市より、地域  
活動の拠点として整備する旨、回答を得ており、今年度は改修費用  
がつかなかったものの、本計画の4カ年の間には実現できるもの  
と思っている。  
・49ページ「64 健康づくりのイベント・講習会などへの積極的  
参加」の2点目に“地域の病院に依頼して”とあるので、担い手に  
医療機関を加えたほうがよいのではないか。

- 事務局 : 医療機関を担い手に加えるためには、関係者と事前に協議する必要があると思われるが、協議することによって拒否される懸念もあるため、あえて明記しないほうがよいと考える。
- 委員 : 拒否されるから明記しないというのは納得できない。本計画は区民の意見によって作成されるものであり、他の部分も全て当事者・関係者合意の下に作成しているわけではない。
- 委員長 : 23ページ「3 基本方針ごとの取り組みの内容」の表に重点項目の設定理由を入れて、20ページの重点項目の表と一つにまとめることができないか。
- 事務局 : 現在のように1ページに収めることはできないが、2ページにまたがれば可能である。
- 委員 : 23ページの表は全体の構成を表し、20ページの表は重点項目を表しており、目的が違うのだから一つにまとめないほうがよい。
- 委員 : 全体の構成を表す23ページの表をまず記載し、その次に重点項目を抽出した20ページの表を記載する、という順番にしたほうがわかりやすいのではないか。
- 委員長 : 一つにまとめるか、二つのままとするか、作業チームで再度検討する。
- 委員 : 重点項目の①、⑥、⑨にはつながりがあり、①住民同士の交流、⑥人材育成を経て、⑨助け合い・見守りに結びつくと思う。これを実践するのは、いつからどういう仕組みで推進するつもりなのか。
- 事務局 : 計画期間は平成23年度から26年度である。地域住民が担い手となり、財源についても例えば行事参加者から無理のない参加費をいただくなど、それぞれの団体で考えていく必要がある。
- 委員 : ・担い手の中に千葉市があるが、花見川区がない。  
・21ページ最後の1行“私たち一人ひとりが作る花見川区の地域福祉の姿です。”が上の段落と1行空いていることもあり、浮いている感じを受ける。不要ではないか。
- 事務局 : 第1期計画と記載内容は同じだが、囲みの中に入っていたので、違和感がなかったのかもしれない。
- 委員長 : 削除してもいいのではないか。
- 委員 : 第1期計画を見ると違和感がない。書き方を変えればよいのではないか。
- 委員長 : 作業チームで検討する。
- 委員 : 54ページ「82 緊急時の救援マップの作成」について、町内自治会や民生委員は、プライバシーにどこまで踏み込んでやるのか。守秘義務などもあり、容易にできることではない。

委員 長：災害時要援護者の支援体制構築モデル事業では、民生委員が行政から要援護者のリストを受け取り、民生委員が要援護者の同意を得て町内自治会に情報提供をしている。

委員：本人の同意を得てやるということが書かれておらずわかりづらいので、表現を修正したほうがよい。

委員：49ページのほとんどの項目が当地区ではここ2～3年で普及してきた。どこの地域でも実践できればよい。

委員：・38ページ「38 社協地区部会の充実」について、社協地区部会が全地区にできていないことが残念である。第2期計画の期間内には全地区にできることを期待している。

・32ページ「取り組みの方向性（4）」【現状】の2点目の個人ボランティアの登録数が花見川区で501名とのことだが、第2章の表ではグループの人数も出ている。合わせて記載すればよいのではないか。

委員 長：社協地区部会は中学校区単位ではできているが、民生委員児童委員協議会の地区で見ると未設置地区がある。表現を変えたほうがよいのではないか。

委員：当地区の社協地区部会は、町内自治会単位で見ると全町内自治会が入っているが、住民会員の加入率が50%に満たないところがある。社協地区部会の主催行事には参加するが、会費は任意だから払わない、という方がいる。これは問題であり、意識を変えていく必要がある。

委員 長：社協地区部会がない地域がある一方、あっても加入率が低いという問題もある。

委員：朝日ヶ丘の一部にも社協地区部会の未加入地域があるようだがどこのことかわからない。

委員 長：未加入地域がわかるような地図を載せるかどうか。

#### (第4章について)

委員 長：行事の参加者から参加費をもらうのは現実的ではない。市社協助成金が増やせないのなら、ふれあい事業を減らして、見守りなど新しい事業に助成すべきである。新しいことに取り組むのに、自分達で金を集めて自分達でやりなさい、では誰もやらない。市社協がもっと金を集める工夫をするべきである。

- 委員：第2期計画では、第1期計画でやり残したことや新しい課題に取り組んでいくべきである。そのためには、担い手が自発的に始めるのを待っているのではなく、この推進協議会が旗振り役として中心的役割を担うことを期待している。
- 事務局：23年度以降も継続して、この推進協議会で進行管理をしていきたいと考えている。
- 委員：進行管理だけでなく、実践できるような援助に期待している。
- 委員長：その旗振り役を推進協議会がやるのか、行政等がやるのか議論が必要である。年4回だけの推進協議会ではその役割を十分に果たせない。
- 委員：地域においては、住民アンケートを実施してニーズを把握するとともに、先進地区を調査するなどして活動をしていく必要がある。財源については、受益者負担も考えていく必要がある。旗振りについては、例えば「災害時要援護者の支援体制構築モデル事業」を紹介することも旗振りになる。

### 議題（3）第2期花見川区地域福祉計画市民説明会について

高齢障害支援課から、第2期花見川区地域福祉計画市民説明会について資料に沿って説明があった。

#### <質疑応答>

- 委員：公助についてまったく触れていないが、この推進協議会は公助外しのためであったのか。
- 委員長：公助については、市計画に移行した。
- 委員：2月の次回会議では、市計画を見ることはできるのか。
- 委員長：見られると思う。
- 委員：説明会の参加者は何人を想定しているのか。また目的は何か。
- 事務局：定員100名で実施する。また、委員の皆様と事務局で作成した素案について、見落としがないかなど委員以外の方の意見を伺う機会を作る。その意見を踏まえて最終案を作成しパブリックコメントを実施する。

議題（４）その他

司会より、第４回推進協議会について説明があった。

<質疑応答>なし

最後に委員長から閉会挨拶をし、午後４時１５分花見川区地域福祉計画推進協議会は閉会した。